

令和4年度 南三陸町立入谷小学校

第3回 学校運営協議会 記録

《欠席：齋藤左恵子様、渡邊 陽介 様》

1 開会（進行：教頭 千葉 正康）

2 開会の挨拶

(1) 南三陸町教育委員会 教育長 齋藤 明 様

- ・ 入谷小学校は、令和元年度からコミュニティ・スクールの制度が本格実施され、今年度で4年目を迎えた。
- ・ 来年度からは、全町に導入されるとともに、志津川中学校区の4校の学校運営協議会は、志津川中学校を会場にして同日に開催する。中には、入谷小学校と志津川中学校の両方の委員を兼ねる人もいる。
- ・ 今後とも、「地域とともにある学校」のために、よろしくお願いしたい。

(2) 学校運営協議会 会長 阿部 國博 様

- ・ 今年度も新型コロナウイルス感染症のため、様々な制約があったものの、無事行事が行われた。
- ・ 入谷地区に残された学校は入谷小だけである。教員は文化人として力を発揮し、子供の教育に励んでほしい。
- ・ 令和5年度は、地域と学校がより一体となってほしい。

3 校長挨拶（校長 石田 隆幸）

- ・ 様々な制約があった中でも、年3回の学校運営協議会を始め、様々な学校行事を無事に行うことができた。
- ・ 本日は、今年度の振り返りと次年度の方針について話し合いたい。

4 報告・協議（議長 阿部 國博 様）

(1) 令和4年度の取組について

- ① 令和4年度学校経営推進プランの達成度について（校長 石田隆幸）
※ 別紙「令和4年度学校経営プランの達成度について」参照。
- ② 令和4年度入谷小学校コミュニティ・スクールの取組について（主幹教諭 松岡清貴）
- ③ 保護者アンケート等を基にした教育活動の振り返りについて（同上）
※ p 5～9 参照。

(2) 令和5年度の取組について

- ① 令和5年度学校経営方針の説明・承認について（校長 石田隆幸）
 - ・ 目指す児童像は平易な言葉で表現し、子供も教員も覚えやすいものにした。
 - ・ 学校経営推進プランの反省を受けて設定した。
※ 別紙「令和5年度 南三陸町立入谷小学校学校経営構想図」参照。
→ 保護者の意識を高める取組を推進してほしい。[阿部議長様]
- ② 令和5年度学校運営協議会委員について（主幹教諭 松岡清貴）
 - ・ 今年度との変更点は、公民館との連携を深めること、学校運営協議会の開催場所が志津川中学校になること、委員は菅原副会長様が勇退され、公民館長と山内年男様が新たに推薦されていることになる。
※ p 13～参照。
→ 資料では8区だが、山内年男様は2区の地区会長である。…訂正箇所

入谷公民館長が委員になる場合は充て職か。 …充て職である

5 連絡・その他

- ① 令和5年度第1回学校運営協議会について（主幹教諭 松岡清貴）
 - ・ 第1回の運営協議会は、5月1日から第二週目までの間で予定している。
 - ・ 決定次第、約1か月前までは、案内状を送付してお知らせする。
- ② 情報交換会（各部会）
 - 学習支援部会で主に話題に上がったこと
 - ・ 5年生がお借りして稻作の学習をしている田んぼの場所を変更する。
 - 安心・安全部会で主に話題に上がったこと
 - ・ 学校に来るのが楽しみだが、コロナのために学校に来る機会が少なくなり、学校運営や行事に対して意見を言うことがなかなか難しかった。
 - ・ もっと学校に来て、子供たちの様子や様々な行事の運営を見て意見を述べたい。
 - ・ 昔は入谷のシンボルである山々に登る学習があった。進学や就職のために、この地を離れる人達もいる中で、地域に対する愛着や誇りを持たせるためにも、せめて童子山あたりに全校で登山をすることはできないものか。その際には、私たち協議委員を始め、地域でお世話をしたい。
 - 交流活動部で話題に上がったこと
 - ・ 打囃子については、コロナ禍による規模の縮小や様々な発表場面の中止などにより、詳しい人がいなくなってきたことが不安である。
 - ・ 先生方との交流がないまま異動ということもあります、なおさら不安である。
 - ・ 会の持ち方について、持続発展的な取組が必要である。
 - ・ 打囃子で使用している竹の中で劣化してきている物については、今後、阿部会長様が交換の手筈を整えてくださる。

6 閉会の挨拶（菅原 文雄 副会長様）

- ・ 今後も、学校と地域が一丸となって子供たちの成長を支えていきたい。

7 閉会